

平成26年 第2回定例会

一 般 質 問

[個 人 質 問]

印 西 市 議 会

順 番	議員番号	議 員 名	質問方式
1	1 番	浅 沼 美弥子	一問一答
2	1 3 番	松 尾 榮 子	一問一答
3	4 番	海老原 作 一	一問一答
4	1 6 番	軍 司 俊 紀	一問一答
5	3 番	岩 崎 成 子	一問一答
6	1 5 番	上 條 公 司	一問一答
7	1 4 番	山 本 清	一問一答
8	1 1 番	橋 本 和 治	一問一答
9	8 番	近 藤 瑞 枝	一問一答
1 0	1 7 番	金 丸 和 史	一問一答
1 1	1 9 番	山 田 喜代子	一問一答
1 2	2 番	雨 宮 弘 明	一問一答
1 3	1 0 番	中 澤 俊 介	一問一答

質 問 1

質問者 1 番 浅沼 美弥子

1 災害に強い街づくりと地域防災力強化への取り組みについて

(1) 法改正に伴う本市の対応について

(2) 防災・減災力強化について

①事業継承計画（BCP）

②J:COMの導入

③外国人に対する対策

④子育て世代への防災・減災知識の普及啓発

⑤防災・減災リーダーの育成

⑥市の備蓄

⑦遠隔地協定

⑧防災公園等の整備

2 市民相談から

(1) 色覚検査について

(2) アレルギー児童の対応

(3) 保育所での事故後の対応

(4) 空き家等に関する苦情の対応

(5) 21住区の防犯灯の設置

3 印西市学校給食センター整備事業について

4 木下駅圏の公共施設の再配置によるまちづくりについて

質 問 2

質問者 13番 松尾 榮子

1 千葉ニュータウン事業について

昭和42年から取り組まれてきた千葉ニュータウン事業が、今年、平成26年3月末をもって収束しました。印西市においては、まだ多くの未処分地等があることから、平成30年度までは用地の処分等が継続されるとのことです。そこで伺います。

- (1) 事業収束時の3月末時点における整備状況について
- (2) 企業進出等の新たな動向について
- (3) 事業者の体制と今後の課題に関する対応について

2 印西クリーンセンター次期中間処理施設整備事業について

現在地を含む印西市内6カ所の候補地について、印西地区環境整備事業組合が設置した用地検討委員会において現在審査が進められています。以下の点について伺います。

- (1) 候補地の評価について
 - ① 現在地そばに、病院が平成28年に開業予定であり、次期施設稼働前には開業していることが明らかであるが、その点数評価はどのように反映されるのか。
- (2) 周辺町内会・自治会について
 - ① 説明会対象は300mにかかる町内会・自治会のみか。
 - ② 在来部は町内会・自治会の範囲が広いが、新住宅地は1マンション等で自治会等が形成されており、範囲が非常に狭い。説明対象はこの範囲でよいのか。
- (3) その他の評価項目について
- (4) 今後のスケジュールについて
- (5) 現施設の延命化について

3 市民が使いやすい公園・市民の森等について

印西市には多くの農地、樹林地のほか、3箇所の総合公園をはじめ、運動公園、地区公園、近隣公園、街区公園等、100カ所を超える都市公園があり、市民が生活の中で自然を身近に感じられる素晴らしい環境です。こうした公園等が市民にとってさらに使いやすいものになるよう、以下の各点について伺います。

- (1) 県立北総花の丘公園について
 - ① 北総花の丘公園駐車場について
 - ア 駐車場利用状況
 - イ 駐車場利用料金の見直しについて
 - ② 北総花の丘公園へのバス交通について
- (2) 市立公園について
 - ① 新規公園について

- ②公園規格ごとの駐車場整備の基準と状況について
- ③高齢化社会の中での駐車場利用の見直しについて
- (3) 草深の森について
 - ①維持管理体制について
 - ②市民の森としての活用について

4 「広報いんざい」等市広報のあり方について

市広報紙・ホームページ等は、市と市民との情報共有の基本であり、市民にとって正確な市政情報を得るための最大のツールです。市から正しい情報が提供されることで、市民の市政への信頼が得られ、よりよいまちづくりに向けた市民参画が進んでいくものと思います。そこで伺います。

- (1) 「広報いんざい」編集・発行方針について
- (2) ホームページ掲載基準について
- (3) 発行・編集責任者について
- (4) 1月15日・4月15日発行「広報いんざい特別号」について
どのような基準で編集・発行されたのか。

質 問 3

質問者 4番 海老原 作 一

1 幼保一体型施設整備事業について

印西市では、印旛高校跡地活用の一事業として木下保育園、大森保育園、大森幼稚園を統合した幼保一体型施設の整備事業が進められており、本年度当初予算には建設用地取得に対する経費も計上されている。そのような状況を踏まえ以下の質問をいたします。

- (1) 幼保一体化についてどの様に考えているか。
- (2) 公立保育園2園、公立幼稚園1園を廃園し、民営幼保一体型1園への移行について
- (3) 保護者の負担を制度設計の中で明らかにするとしていたが、いつどの様に明らかにするのか。
- (4) 議会、保護者への説明はどの様にしていくのか。

2 小・中学校空調設備設置工事について

平成26年度印西市一般会計当初予算について、印西市議会は、小・中学校の空調設備設置工事実施設計業務委託費を説明不足、整備計画の見直しなどを理由に当初予算案から削除した修正案を議決したが、予算の審議過程において空調設備設置をすべきという議会の意志は明確に読み取れた。そのような状況を踏まえ以下の質問をいたします。

- (1) 他市における全校同時設置の理由について
- (2) 空調設備設置方式の客観的比較について
 - ①従来型の工事方式による設置のメリット、デメリットについて
 - ②PFI方式による設置のメリット、デメリットについて
 - ③リース方式による設置のメリット、デメリットについて
- (3) 実施設計業務の期間および施工期間について
- (4) 電気の購入方法について
- (5) 空調設備設置後の夏休み短縮について

質 問 4

質問者 16番 軍 司 俊 紀

1 印西市は高齢化社会にどう向き合うか

私たちの住む印西市では、少子高齢化の進展により、独居高齢者や高齢者夫婦世帯が増え、様々な問題が今後さらに発生することが予想されます。

今後、生活のしづらさを抱える人を地域で支えていくためには、各種福祉サービスは勿論ですが、家族や近隣住民の助け合い、支え合いが必要不可欠だと考えます。

町内会・自治会は、最も高齢者に身近な団体・組織であり、日常生活を送る際の不都合や危険を最も早く解決できると思いますが、印西市では近年、組織率、加入率が低下しています。

印西市では今後、更なる高齢化社会を迎えるにあたり、町内会・自治会等の地域コミュニティとどのような関係を構築していくのだろうか。

- (1) 印西市内の町内会・自治会の組織率、加入率は現在どのくらいか。
- (2) 市は町内会・自治会の高齢者に対する取り組みを把握しているのか。
- (3) 高齢化社会に向き合うための様々な地域コミュニティを市はどのように

把握し、サポートしていくのか。

2 教育環境の整備について

印西市では平成26年度の教育委員会の教育施策の基調を「健やかな心と体を育む教育」とし、学校教育においては「生きる力を持ち未来を拓く子どもを育む」とある。

子どもたちにとって望ましい教育環境の整備を行うために印西市は何を行っていくのだろうか。

- (1) 学校の統廃合については検討されているのか。
- (2) 学校現場では「小1プロブレム」や「中1ギャップ」についてどのように感じているのか。
- (3) 児童生徒の危機管理体制構築について、どのように考えているのか。

3 印西市における「子育て支援施策」について

千葉ニュータウン中央駅周辺では新たな大規模マンションの計画が発表され、現在判明しているだけで今後3年間で1,193戸の住宅販売が行われる。また、牧の原駅圏21住区でも今年度も住宅・土地分譲が進み、子育て支援のためには市内全域を見据えた計画対応が求められる。

- (1) 保育園について
 - ①現状の待機児童数はどうなっているのか。
 - ②今後の開設スケジュールは予定通りか。
- (2) 学童保育施設について
 - ①現状の待機児童数はどうなっているのか。
 - ②夏休み対応はできているのか。
 - ③児童数が大きく増えると見込まれる地域の学童保育対応について、どのように考えているのか。

4 印西市における放射線／放射能対応について

- (1) 共同通信によると福島県の全ての子どもを対象に東京電力福島第1原発事故による放射線の影響を調べる甲状腺検査でがんの診断が「確定」した子どもがでていたという。この報道を受けて、私のもとには不安の声が寄せられている。県内自治体では松戸市で、東電福島第一原発事故による放射線の健康不安を軽減しようと、子どもの甲状腺エコー検査に対し検査費を助成する制度を設けている。

印西市でも希望者に対する甲状腺検査の助成はできないか。

- (2) 市では、安心・安全な給食を提供するため市場に流通している食材を使用することにより、安全な食材の確保に努め、給食で使用する食材につ

いて簡易型放射性物質分析機器を用いて検査を行っています。

しかし、その検査は放射性ヨウ素、放射性セシウムに限られ、放射性ストロンチウムに関しても検査を求める声がある。今年度、東京都品川区が全国で初めて、学校給食のストロンチウム測定を実施し、結果についても公表している。印西市では、この内容を把握しているのか。

また、同様に実施についてはどのように考えているのか。

5 牧の原駅圏の将来について

- (1) 牧の原駅圏に位置する西の原小、原小、西の原中には現在草深地区からも子どもたちが通学している。

しかし、新興住宅地の住民からはコミュニティ施設について、生活圏でない船穂のコミュニティセンターの管轄であることについて疑問の声を聞く。市当局は現状をどのように把握しているのか。

- (2) 地域住民から引き続き郵便局の誘致要望が寄せられている。印西市はどのような要望活動を行っているのか。

- (3) 土地処分計画で具体的な進捗はあるか。

- (4) 「松崎工業団地入口」の交差点に右折信号の設置は可能か。

また、複数箇所において、感応式信号の反応の遅さに苦情が寄せられるが、対応はできているのか。

- (5) (ニュータウン中央駅北口も同様だが) ムクドリの対応は今年はどのように計画されているのか。

質 問 5

質問者 3番 岩 崎 成 子

1 公共交通の充実について

- (1) 当市の公共交通の充実への取り組みについての市長の見解を伺う。

- (2) 交通不便地域解消については、業者に委託して調査・研究等を実施した。

①その結果はどのようなであったか。

②その結果・検証を踏まえて、今後、不便地域解消への対策をどのように進めて行く考えであるか。

2 市民、地域からの要望への対応について

- (1) 印旛日本医大駅エリアにおいて、市民の皆様より皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、整形外科等の身近な医院の誘致を期待する声があるが市民の要望に答えていく考えはあるか。
- (2) 地域を元気にするために、市民の皆様がボランティア活動等でさまざまなイベントを企画し、活気あるまちづくりを推進している。これらの地域活動に市職員の積極的な参加を期待する市民の声が届いてくるが市長の見解を伺う。
- (3) 市道山田・平賀線について
 - ①大雨で冠水する中平橋付近対策の進捗状況は。
 - ②大型車両通行禁止への取り組みの進捗状況は。
 - ③平成26年度の道路修繕計画はどのようになっているか。
- (4) 県道佐倉・印西線について
 - ①歩道整備の進捗状況を伺う。
- (5) 市で管理している公園の管理並びに整備状況について
 - ①設置してある遊具・ベンチ等の点検は計画的に行っているか。
 - ②木の伐採や草刈り等は計画的に行っているか。
- (6) 側溝の掃除等は計画的に実施されているか。
- (7) 「市道瀬戸・師戸」のバス運行を望む市民の声が届いているが対応を考えているか。
- (8) バス路線、「印旛学園線」の増便についての進捗状況は。
- (9) 吉高台団地で要望されている下水道整備はどうなっているのか。

3 新規採用職員及び職員の人事異動について

- (1) 平成26年度採用された新規職員に対する市長の見解を伺う。
- (2) 平成26年4月1日付で多くの職員の異動があった。今回の人事異動に対する市長の見解を伺う。
- (3) 職員数の適正についての認識を伺う。

4 危機管理体制について

- (1) 大規模で不測の災害・事故・事件等の突発的な事態に対処するために危機管理体制の充実を現在進めているが、現状の危機管理体制に対する市長の見解を伺う。

質 問 6

質問者 15番 上 條 公 司

1 千葉ニュータウン事業収束に当たって

平成26年3月末日をもって千葉ニュータウン事業は終わった。計画が持ち上がり約50年、初期計画から大幅に規模を縮小しての終了となった。

UR（都市再生機構）からの移管交渉は、順調に進行したのだろうか。

いよいよ印西市独自の街づくりが始まった。

(1) 目標が達成されなかった主な事業

(2) 公園・道路・橋梁等、引き渡しを受けた数と現況、今後予想される維持管理費の概算

2 市民の期待すること

平成25年夏「印西市市民満足度・重要度調査」が実施され、その結果が平成26年1月に企画財政部より報告された。その調査結果によると、今後特に力を入れてほしい施策は「公共交通の充実」「高齢者福祉の充実」「防犯・交通安全対策の強化」、そして「防災体制・災害対策の強化」と続く。印西市は市民の期待にどう応えていくか。現状と今後の施策についてお訊ねする。

(1) 関係部署は報告書をどう読みどう生かしていこうと考えているか。

(2) 防犯対策の強化と防犯組合への活動支援

(3) 防災体制の拡充

(4) 木下小学校法面崩落の復旧工事完了は6月中との答弁であったが、進捗状況を問う。

3 福祉の充実

今日、少子高齢化の進行、家族形態の変化、近隣関係の薄さ等を背景に、孤独死や生活困窮者問題など福祉の課題が山積している。問題から目を逸らすことなく確り取り組みたい。それには地域福祉活動の推進が不可欠と考えている。

さて、平成26年今年度の印西市組織見直しの中で、障害福祉課が設けられたことは大いに評価し期待している。障がい者が社会の一員として地域で自立し、心豊かに生活できる、バリアフリーの街いんざいを目指したい。

以上の観点から、下記お訊ねする。

(1) 地域福祉の推進

①印西市は地域福祉施策をどう認識しているか。

- ②住民参加による地域福祉活動をどう支援していくか。
- (2) 障がい福祉
 - ①障がい者の福祉計画
 - ②障がい者に対するサービス提供事業所との連携・支援
 - ③福祉作業所コスモスについて
- (3) 福祉基金設立の提案

4 学校教育の充実

市民の期待することの第5番目は、前記「防災体制・災害対策の強化」に次いで「学校教育の充実」であった。常々、教育は人間の根幹を成すものであり国の礎となるとの考えを持っており、今まであらゆる観点から教育問題を取り上げてきた。引き続き問う。

- (1) 小学校と中学校の連携について
- (2) 小学校低学年から始まる英語教育
- (3) 小学生の辞書引き学習

質 問 7

質問者 14番 山 本 清

1 北総線運賃問題

- (1) 来年度から、北総線運賃はどのようになる見通しか。来年度からの北総線運賃体系をどのように評価しているか。
- (2) 北総線運賃と耐震補助は別、という印西市の理解からすれば、仮に耐震補強が合意に至らなかった場合、消費税は別として北総線学割運賃は現在の運賃が維持される、となるはずだが、そのように印西市は理解しているか。
- (3) 北総線の昼間回数券、土日休日回数券、普通回数券をバラ売りすることは、法令に違反するか。

2 ゴミ問題

- (1) 印西地区環境整備事業組合の次期中間処理施設候補地の中に、住宅密集地に至近の場所が3カ所ある。印西市としては、住宅密集地に次期中間

処理施設が建設されることについて、まちづくりの観点から、どのように考えるか。

- (2) 現施設の延命化は、どのように進んでいるか。
- (3) ゴミ減量化政策の進捗状況はどうなっているか。

3 総合福祉センターの指定管理

- (1) 総合福祉センターの指定管理は、昨年第2回定例会で可決されているはずだが、今はどのように運営されているか。
- (2) 今後の見通しはどうか。指定管理が一度は決まった社会福祉法人とは、どのようなやり取りをしているか。
- (3) 同センター内の浴場の復活について、どのように考えているか。

4 議会運営についての法令・制度調査、法令解釈の調査

- (1) 法令・制度調査、法令解釈の調査は、印西市では、どの部、課の担当か。
- (2) 一般論として、討論を制限することについては、議会運営についての法令解釈上、どのような論点があるか。
- (3) 一般論として、動議提出を制限することについては、議会運営についての法令解釈上、どのような論点があるか。
- (4) 「申し合わせ」の定義は何か。申し合わせの成立要件は何か。どのような手続で成立するか。法的効力はあるか。

5 教育環境の改善

- (1) 印西市内の小・中学校の一般教室にエアコンを設置する計画は、今後、どうなるのか。2014年第1回定例会でエアコン設計予算が削除された際、「説明不足」「パブリックコメントを取れ」という声が出たが、今、説明やパブリックコメントに向けて、どのように市は動いているか。
- (2) 学校周辺の信号機設置、横断歩道の補修の要望が市民から出ている。印西市はどのように動いているか。

6 たばこポイ捨て条例

- (1) ポイ捨て条例は、2013年第4回定例会で議会多数派によって否決された後、断念したのか。
- (2) たばこの灰で目を怪我した子どもは、回復したのか。
- (3) 「歩行者の安全」と、「喫煙者の喫煙の権利、プラス、たばこ販売業者の経済的利益」と比較した場合、どちらが優先すると考えるか。

質 問 8

質問者 11番 橋 本 和 治

- 1 市の広報のあり方について
 - (1) 特別号
 - (2) 行政依頼配布物と市広報の関係
- 2 橋梁の長寿命化計画について
- 3 ベジファーストの推進について
- 4 消防団支援策について
- 5 ドライブレコーダーの普及推進を
 - (1) 公用車へのドライブレコーダー導入
 - (2) 地域公共交通車両（バス・タクシー等）への導入促進
 - (3) 市民への導入促進
- 6 スポーツ振興
 - (1) チャレンジデーへの参加
 - (2) 世界少年野球大会誘致

質 問 9

質問者 8番 近 藤 瑞 枝

- 1 平成25年12月に「生活困窮者自立法案」が成立し、平成27年4月より施行される。印西市の生活困窮者への支援体制はどのようなものか。
 - (1) 自立相談支援事業の実施及び住居確保給付金の支給について
 - (2) 就労準備支援事業、一時生活支援事業及び家計相談支援事業等の実施について

(3) 近隣自治体の生活困窮者自立促進支援モデル事業について

2 文部科学省の調査によると、公立小・中学校の通常学級に在籍する児童生徒のうち、発達障害の可能性のある小・中学生は6.5%に上る。印西市の発達障がい児、発達障がい者への支援体制はどのようなものか。

(1) 就学前の対応、支援について

(2) 学齢期の対応、支援について

(3) 青年期、成人期の対応、支援について

質 問 1 0

質問者 17番 金丸和史

1 マンション管理組合の施策について

(1) 平成25年第3回定例会以降の進展した具体的な内容を説明願いたい。

(2) 自主防災組織を管理組合に適用してはどうか。

①問題点及び課題は何か。

②消防法第8条の2の5第1項に規定される自衛消防組織と自主防災組織との関係はどうか。

(3) 今後の施策展開について伺う。

①マンション管理士の活用に関すること。

②どの部署が担当するのか（縦割り行政の弊害の打破）。

③マンション標準管理規約（国土交通省策定）団地型第34条第15号、単棟型第32条第15号の規定に関する印西市の考え方。

（コミュニティ形成のための総合的施策の一環として基本方針）

2 印西クリーンセンター長寿命化計画について

(1) 長寿命化計画に要する費用の額はどのように試算しているのか。

(2) 印西市長としての長寿命化計画の地元説明はどのように考えているのか。

(3) 長寿命化事業を実施しないための方策は検討しているのか。

3 北総線運賃問題について

(1) 北総鉄道株式会社が平成27年度以後の運賃について発表するまでの経

過について伺う。

(2) (1) について印西市長として取り組んだ具体的な内容は何か。

(3) 北総鉄道への「耐震化補助」に関する印西市長の見解を伺う。

4 板倉市長の政治姿勢について

(1) 指定廃棄物の一時保管の期限が今年度末となっているが、市長はどのように考えているのか。

(2) 平成25年度における入札結果について、地元事業者育成という観点でどのように評価しているのか。

5 教育委員会に関することについて

(1) エアコン設置に向けた検討はどのように進んでいるのか。

(2) 2020年東京オリンピック・パラリンピックへ向けた取り組みはどのように考えているのか。

① 具体的取り組みは

② 組織編制の考えは

③ 印西市独自の強化選手の指定の考え

(3) 大学及び大学病院との連携はどのように行っているのか。

質 問 1 1

質問者 19番 山 田 喜代子

1 北総線高運賃問題について

北総鉄道は、県と沿線6市が支出してきた補助金を、今年度で打ち切ることを理由に、現行4.6%の運賃引き下げ率を、平均3.4%（一般運賃4.6%を3.4%に、通勤定期1.1%を0.6%に、通学定期25%は変わらず）縮小するとの方針を示した。

法律事務所作成の「報告書」は「全体的に平均10%程度の運賃値下げを行なうことも可能と考えられる」と指摘している。

今後、市として更なる値下げをどう実現させる考えか。

2 国民健康保険について

国保法の第1条で、国保を「社会保障及び国民保健」のための制度と規定し、第4条で「その運営責任は国にある」と明記している。国保の総会計に占める国庫支出の割合は、1984年度の約50%から24.7%へと半減した。この削減が市と住民への重い負担となっている。加入者は、収入の少ない人が多く、高すぎる国保税が暮らしを脅かしている。国保の運営主体である市は、住民の立場で国保税の負担軽減、減免制度の改善・拡充をはかることが必要であると考え。あわせて県に対しても住民福祉の守り手として、市町村国保の支援を強めるよう要求すべきではないか。

- (1) 国保世帯の状況
- (2) 状況からみでの課題は何か
- (3) 減免制度の改善・拡充への考え
- (4) 国保税の引き下げへの考え

3 公共交通の充実について

市民意識調査によると、市民要求のトップが交通網の整備だ。新規の住宅建設で地域が広がり、あるいは地域の人口が減少する中で、路線バス、ふれあいバス等の運行は住民の要求に応じているのだろうか、合併後の地域格差のない、まちづくりは実行されているのか、検証が必要と考える。

- (1) 路線バス、ふれあいバス—市民の声にどう応えてきたか
今後の拡充についての考え
- (2) デマンド交通（自宅から目的地まで）の実施を求める
- (3) 交通弱者への対応は充分であるという認識か

質 問 1 2

質問者 2番 雨 宮 弘 明

1 中央駅南地区のまちづくりについて

- (1) 住宅開発、企業進出の状況及び計画はどうなっているか
- (2) 人口の推移の見通しは
- (3) 千葉ニュータウン事業の見直しにより都市計画が変更されたが、その経緯について伺う
- (4) 見直しによる効果、影響はどうか

(5) 中央駅南地区に計画されていた小学校用地がなくなったが、問題はないのか

2 小・中学校の統廃合について

(1) 今年度予算審査の際、検討中とのことだったが、組織として具体的に検討作業を行っているのか

3 町内会自治会補助金制度の変更について

- (1) 連合会を通さずに直接単位自治会に交付する方法に大きく変更することだが、何を目的に具体的にどのように変更するのか
- (2) 4月に説明会を開いたとのことだが、各団体の反応はどうだったか
- (3) 町内会自治会への加入率は今年2月時点で64.5%とのことだが、加入率アップの具体策は

4 北総線高運賃問題について

- (1) 昨年12月26日、板倉市長は白井市長と共に北総鉄道への補助金支出は27年度以降は継続しない旨表明し、他4市の市長と連名で森田知事に対し「合意書」に基づく協議会の開催を要請して以降、27年度以降の運賃水準について大きな動きがあった。市長はこれをどう評価しているか
- (2) 今後、「更なる値下げ」実現のために、どのように取り組む計画か

質 問 1 3

質問者 10番 中 澤 俊 介

1 交通インフラの課題について

- (1) 広域的道路ネットワークの整備はどのような状況か
- ①国道16号バイパスの利根川沿いルート案
- (2) 狭隘道路の拡幅事業はどのように進めるのか
- ①緊急車両等の円滑な通行を確保するための市道整備
- (3) 休止した民間バス路線の運行再開はどうか
- ①公的支援による路線の維持

(4) JR成田線の利便性や活性化についてどう考えているのか

①沿線自治体との連携

2 印西市住宅リフォーム補助事業について

(1) 景気対策に配慮した制度設計及び事業効果はいかがか

①予算の執行状況

3 小児医療と介護施設の整備について

(1) 持続可能な小児救急医療体制の確立をどう考えるか

①夜間小児外来の実績及び診療時間の延長

(2) 待機高齢者の解消は実現できるか

①次期介護保険事業計画における位置づけ

4 木下小学校における災害復旧と老朽化対策について

(1) 法面崩落後の安全性は確保されたのか

①北側通学路の供用開始

(2) 老朽化した校舎・体育館はどうなるのか

①学校施設の非構造部材の耐震対策